

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	泌尿器外科学 Urology	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	-------------------	----	------	------	-----------------

担当	教 授	准 教 授	講 師	助 教	客員教授・その他
板橋	◎中川 徹		山田 幸央 高橋 さゆり 木村 将貴	金谷 淳志	
ちば	◎納谷 幸男	小島 聡子	増田 広 荒木 千裕	巢山 貴仁 芳生 旭辰	
溝口	◎石坂 和博		永田 将一 奥村 太輔	中村 圭輔	加納 英人 (助手) 立岡 慎一郎 (助手) 関根 英明 (客員教授) 浅野 桐子 (非常勤講師) 野村 栄 (非常勤講師)

	泌尿器外科学Ⅰ (1年次)				泌尿器外科学Ⅱ (2年次)				泌尿器外科学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	泌尿器科一般、男性学、腎臓病学を含む尿路性器系疾患全般に対する知識と臨床能力を習得する。また、泌尿器科診療において必要な分子生物学的手法の基本技術を習得する。				腎尿路系の解剖生理および各疾患の病態、諸検査の意義について理解できるようにする。 泌尿器科領域の診断・治療、および手技を十分に理解し、指導医のもと外来診療・手術をおこない、臨床能力を高める。 泌尿器科医としてのみならず、医療人としての必要な基本姿勢・態度を身につける。 指定された指導教員のもとでテーマを決め研究計画を作成する。				指導医のもと、泌尿器領域の化学療法や手術をおこなう。 遺伝子の構造、複製・転写・翻訳に必要な装置とそれらの働き、突然変異と修復、組換え、発現の調節機構、遺伝子産物の分子生物学的作用および生理機能、疾患モデル動物について最新知識の解説を行い、泌尿器分子生物学を真に理解できるようにする。			
到達目標	尿路、男性性器の解剖、生理、病理に関する基礎知識を習得する。 DNA、RNA、蛋白解析などの分子生物学的手法を実施できる。 統計解析の基礎を理解する。				泌尿器科領域で使用される検査薬、画像診断の基礎を理解し、診断が行える。 泌尿器科領域で使用される薬剤の機序(特に分子標的薬、生物学的製剤など)を理解する。 泌尿器科の基本的な外科治療が出来る。 適切なデータ解析と臨床及び基礎研究のデザインが実施できる。				自身のテーマに従い、研究を計画・実施・解析ができる。他研究者と意見を交換し、問題点についての的確な見解を述べる事ができる。 医の倫理を身につけ、診療を行うことができる。			
事前事後学修	自学自習の習慣を身につけ、情報収集能力を高める。 得た知識を論理的に構築することを意識する。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				研究チームの中での自分の役割を認識し、積極的に参加する意識、責任感を養う。 自分のテーマに関して自主的に関連知識の習得に努め、指導教員と積極的に討論する姿勢を持つ。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				積極的に学会、研究会へ参加し、他の研究者の発表を聞き、討論に加わる。 科内の研究カンファレンスで自分のテーマについて積極的に発表し、指摘された点について整理し、指導教員に相談する。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	受講及び日常診療態度60% レポート 40%				受講及び日常診療態度 60% レポート 40%				受講及び日常診療態度 40% レポート 30% 発表(学会発表、プレゼン) 30%			

■主な演習(講義・実習含む)

	泌尿器外科学Ⅰ (1年次)	泌尿器外科学Ⅱ (2年次)	泌尿器外科学Ⅲ (3年次)
板橋	月 曜日 8 : 00 ~ 9 : 00 病棟症例検討会	月 曜日 8 : 00 ~ 9 : 00 病棟症例検討会	月 曜日 8 : 00 ~ 9 : 00 病棟症例検討会
	水 曜日 17 : 00 ~ 20 : 00 臨床症例検討会	水 曜日 17 : 00 ~ 20 : 00 臨床症例検討会	水 曜日 17 : 00 ~ 20 : 00 臨床症例検討会
	金 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 DNA、RNA、蛋白解析手技	木 曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術実習	金 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 実験指導
	火 曜日 17 : 00 ~ 19 : 00 治療計画の立て方と実際 統計について	火 曜日 17 : 00 ~ 19 : 00 別途指示	火 曜日 17 : 00 ~ 19 : 00 別途指示
	金 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 DNA RNA解析	月 曜日 9 : 00 ~ 16 : 00 手術実習	月 曜日 9 : 00 ~ 11 : 00 研究指導
ちば	月 曜日 17 : 00 ~ 19 : 00 臨床症例検討会	月 曜日 17 : 00 ~ 19 : 00 臨床症例検討会	月 曜日 17 : 00 ~ 19 : 00 臨床症例検討会
	水 曜日 8 : 15 ~ 9 : 00 術前症例検討会	水 曜日 8 : 15 ~ 9 : 00 術前症例検討会	水 曜日 8 : 05 ~ 9 : 00 術前症例検討会
溝口	木 曜日 8 : 15 ~ 9 : 00 病棟症例検討会	木 曜日 8 : 15 ~ 9 : 00 病棟症例検討会	木 曜日 8 : 15 ~ 9 : 00 病棟症例検討会
	水 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 泌尿器科検査 奥村太輔	木 曜日 17 : 00 ~ 19 : 00 膀胱癌と前立腺癌の病理 永田将一	火 曜日 17 : 00 ~ 19 : 00 ロボット手術の困難症例 石坂和博

教科書・参考書

Campbell-Walsh Urology 11th edition など

その他履修上の注意事項

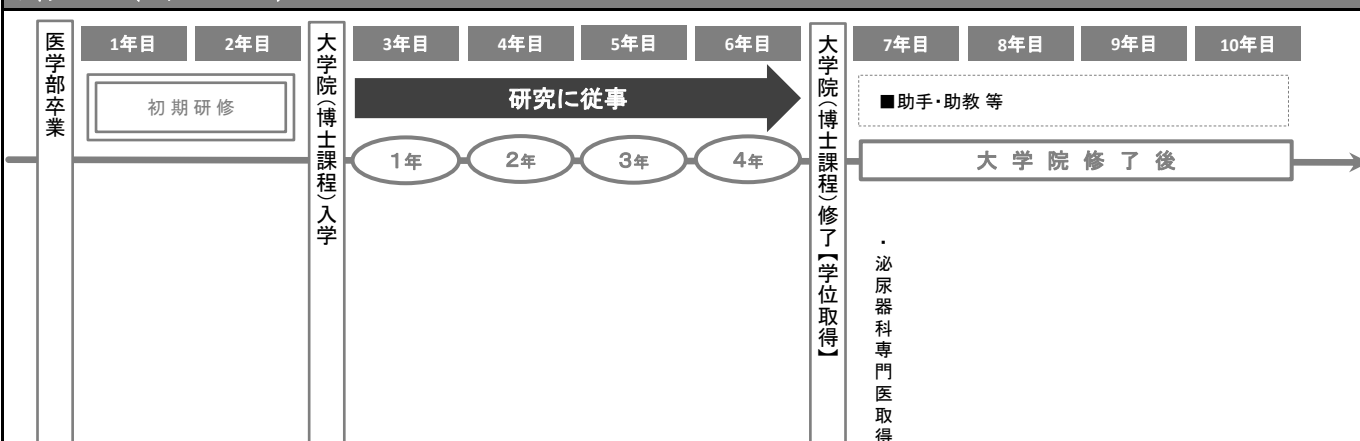
講義・実習・演習の詳細については個別に案内します。
 週1回の泌尿器科臨床カンファレンスには必ず出席すること。
 指定する専門領域の学会、研究会へ積極的に出席し、その内容を科内でプレゼンテーションすることも評価の対象とする。
 研究手技の取得など必要と思われる場合は、学外施設での研修も考慮する。
 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	内科・腎臓系など関連領域を1科目以上、3か月コースまたは講義・演習コースにて履修することができる。
	共通科目	泌尿器臨床医学特論、泌尿器分子生物学(必修)

関連する専門医資格

泌尿器科専門医(日本泌尿器科学会) 卒後研修2年、泌尿器科専門研修4年他
<http://www.urol.or.jp/menu.html>

キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。